



広報

くにもと

Mar 2022

No. 79

【編集・発行】国本地区づくり振興会

「くにもと・夢・ミライ花火」を 開催しました

国本地区づくり振興会では、コロナ禍が一日でも早く終息し地区にお住まいのみなさんに少しでも元気を出していただけるよう、1月29日(土)に『くにもと・夢・ミライ花火』を開催しました。

当日は、午後6時に始まり、地区内の3つの会場（国本中央小、国本西小付近、晃宝小）から、冬の夜空に色鮮やかな花火が打ち上がりました。

令和4年 成人式 華やかに開催！

【場所】ホテル東日本宇都宮 【主催】宇都宮市成人式国本中学校区会場実施委員会 【参加人数】109名



1/9 令和4年成人式は、コロナウイルス感染拡大により開催が懸念されましたが、感染対策を徹底し予定どおり実施されました。新成人にとっては一生に一度の成人式、行動や時間に制約があるものの、恩師や級友との久々の再会や語らいの場は貴重な時間となりました。

前半の式典は厳粛な雰囲気の中、新成人代表の「誓いの言葉」では「成人としての意思と決意」が力強く述べられ、また後半の地域交流事業のお礼の言葉では、これ

までお世話になった「地域や恩師、家族への感謝の気持ち」が心を込めて伝えられました。その後の恩師によるお祝いのメッセージからは和やかな雰囲気は一変し、クラスごとの記念撮影で終了となりました。

新成人の元気とあふれる笑顔を見ていると新成人のみなさんがコロナ禍にあっても希望をもって力強く前に進んでいくことを確信しました。

新成人の皆様は今後ますますの活躍を心からお祈り申し上げます。



ふわふわのシフォンケーキを作ろう

【場所】 国本生涯学習センター調理実習室 【主催】 国本生涯学習センター
 【参加人数】 国本地区内の小学4年生から6年生の親子9組



令和3年
 12/4

新里町にあるシフォンケーキのお店「グノン (guenon)」の折本さんと床井さんを講師に迎え、9組の親子がシフォンケーキとパフェ作りに挑戦しました。はじめに折本さんによるケーキ作りのデモンストレーションがあり、皆さんメモを取りながら真剣に手順を確認していました。

シフォンケーキの要であるメレンゲ作りでは、子ども

たちは慣れないながらもハンドミキサーを上手に使いこなしていました。焼きあがるまでの時間に、オリジナルのパフェを作りました。それぞれ工夫したオリジナルのパフェができ上り自慢げな様子でした。

焼きあがったふわふわのシフォンケーキを型から外した時は歓声が上がり大変嬉しそうでした。



クリスマスを楽しもう

【場所】 国本生涯学習センターホール 【主催】 国本生涯学習センター
 【参加人数】 未就園児と保護者10組

令和3年
 12/8

未就園児と保護者のための講座「親子ワクワク教室」の最終回でした。今回は歌と工作を楽しむ素晴らしいパーティーでした。はじめにリトミックで体を動かした後、カップにツリーやサンタクロースを入れる工作をしました。子どもたちがクリスマスソングを歌っていると、鈴の音とともに突然サン



タクロースが現れ、子どもたちにプレゼントをくれました。サンタクロースの登場に、子どもたちは目を丸くし大喜びでした。

最後に、大きな絵本やぬいぐるみを使った読み聞かせを行いました。本当に楽しい会でした。



ひとり暮らしの高齢者の見守り活動

【期日】 10月から訪問開始 【主催】 国本地区社会福祉協議会
 【参加人数】 訪問に関わった高齢者と役員約350名

ひとり暮らしの高齢者が引きこもりがちにならないように『ふれあい会食会』を例年開催していましたが、新型コロナウイルスの感染の終息が見えない中、中止となりました。

高齢者が孤立しないように自治会に『見守り活動』を提案して2年目となります。

今年も自治会役員や福祉協力員等がレトルト食品などを持参し『元気ですか』と声をかけ、16自治会で約275名の方々に喜ばれるとともに、ひとり一人の安否確認ができました。

ご協力いただいた自治会の皆様、福祉協力員の皆様に感謝申し上げます。



はつらつ教室で「絵手紙に挑戦」

【場所】 国本地区市民センター等 【主催】 くにもと地区包括支援センター
 【参加人数】 10名程度

令和3年
 12/3

くにもと地区包括支援センターは、国本地区にお住まいの高齢者の皆様の支援機関として日々業務に取り組んでおります。

さて、新型コロナウイルスの影響でここ数年外出がしづらくなり、体を動かす機会や友人などとお会う機会も減っていることと思います。この状況が続くと、心身ともに弱ってしまう『フレイル※』となることが心配です。

12月3日には民生委員の前波さんを講師にお迎えし、絵手紙に挑戦しました。経験のない方も多く「私にもできるだろうか」と心配なさりながらも、熱心に取り組んでいました。完成後、参加者がお互いの作品を誉め合う姿が見られました。



※フレイル：加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスにせいかくなくなった状態で、健康な状態と介護が必要な状態との中間地点にある状態のことです。

地区市民センターにお花が届きました。

国本中央小学校の児童より、地区市民センターに、お花のプランターが寄贈されました。

これは、同校の児童が、大切に育てたお花をプランターに入れたもので、センターの玄関に飾っています。

プランターそれぞれには、育てた児童のメッセージが入っており、寒い中でも、彩り豊かで可愛らしい花が力強く咲いています。

センターにお立ち寄りの際は、ぜひ、ご覧ください。



国本の歴史と文化 第三話 岩本と悟理道の歴史文化資源が「みや遺産」に認定

みや遺産（宇都宮市民遺産）とは、地域に愛され、親しまれている歴史文化資源を地域ぐるみで保存継承している団体を宇都宮市が認定し支援する制度です。

今般、岩本自治会の『岩本観音と地域の伝統行事』と、悟理道自治会の『悟理道の歴史をつなぐ伝統行事と神輿』がそれぞれ認定されました。

『岩本観音と地域の伝統行事』

岩本観音（下野33観音札所・馬頭観音）の保存と周辺の整備管理や伝統行事として、3月下旬の雷除け五穀豊穰を祈願して梵天を奉納する雷電神社祭、8月上旬の五穀豊穰・家内安全・厄除けを祈願する生駒神社祭が江戸時代後半頃から地域の伝統行事として大切に受け継がれています。



お神輿と神事



『悟理道の歴史をつなぐ伝統行事と神輿』

伝統行事の悟理道まつりは、悟理道の繁栄を見守る水神社と琴平神社に感謝し、毎年11月第1日曜日に神職を招き厳粛な神事を行い、先人に感謝し家内安全・五穀豊穰を祈る行事で自治会の一大行事となっています。また、悟理道自治会祭礼神輿（文政年間（1818）年以降造）は「悟理道まつり」に子どもたちが町内を巡行し老若男女が集い、自治会の融和と絆を育むシンボルとなっています。

宇都宮市文化財調査員 川村泰一

国本地区データ

総世帯数 5,915世帯

総人口 15,106人

[男 7,315人 女 7,791人]

(令和4年2月末日現在)

編集スタッフ募集

「広報くにもと」の編集ボランティアを募集しています。
年齢・経験は問いません。

【問合せ】国本地区市民センター TEL.665-2942